

## 横断的強化軸

デジタルトランスフォーメーション(DX)、  
科学技術イノベーション(STI)の活用・推進：  
DX・STIを活用した開発モデル・手法の革新、デジタル  
ビジネスの振興、電子政府・公共サービスのデジタル化支援

### 現状と課題

- アフリカのインターネット経済は、2025年には1800億ドル、2050年までには7120億ドルまで成長すると見込まれており、インターネットの接続は10%改善することにより、GDPが2.5%増加すると見込まれている。
- 新型コロナウイルスの影響により、国際社会全体において経済・社会のデジタル化が飛躍的に進んでおり、アフリカでも同様である。

### 今後の取り組み方針

#### ■ ビジョン:

TICAD9に向けて「**JICA DX Challenge for Africa**」を提唱し、DXの主流化とデータを基にしたアフリカ開発を進めることで、「人間の安全保障」に基づいた経済・社会の発展を目指す。また、他の開発パートナーとも連携・協働し進めることで、AUのアフリカDX戦略(2020~2030)に貢献する。

#### ■ 全般:

アフリカを切り口に、地域・分野・課題問わずDX案件を採用しやすい支援体制を構築し、組織をあげてモデルとなる案件形成・実施促進を図る。また、将来的には蓄積したデータを基にした開発を政府や他の開発パートナーと共有して推進することを目指す。

#### ● **DXの主流化:**

- ✓ JICAのアフリカ地域事業をスクリーニングし、外部ツールや本邦民間企業等のDX技術・要素の取り込みを検討することで、活用が見込める案件の開発効果を飛躍的に高める。

#### ● **データを基にしたアフリカ開発:**

- ✓ アフリカ開発におけるデータ利活用の推進パートナーとなるよう、各分野・課題において、DX導入によって高い効果をあげる案件を形成・実施する。
- ✓ アフリカにおけるデータ活用の課題を踏まえた上で、中長期的なアフリカ開発に資するデータ利活用の方向性を検討する。
- ✓ データ蓄積及びデータを活用した事業という二つの側面での検討を行い、技術協力、無償案件、海外投融資を含めた有償案件、民間連携事業への導入も視野に入れる。



### 貢献する SDGs



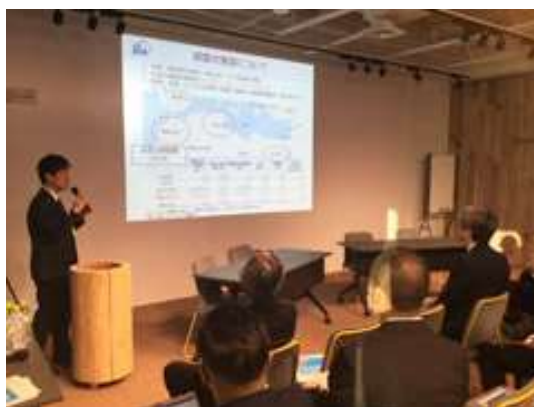
これまでのJICAの取組み



TICAD7にて、「アイデアからアクションへ：アフリカ×科学・技術・イノベーション」をテーマに、世銀・UNDPと共催でSTIにかかるサイドイベントを開催。



2020年より、STI・DX室を新設。DX推進のための体制を整備、デジタル技術を活用した新たな領域での協力を推進。



アフリカが抱える社会開発課題を、科学・技術・イノベーション(STI)とオープンイノベーションで解決するための調査を実施。その一環として対外セミナーを開催。



民間企業とのオープンイノベーションによる課題解決事業を実施。特設ウェブサイトを開設し、企業の公募情報や実証実験の進捗等を掲載。



アフリカ諸国のDX推進に係る調査を実施。公共サービスの電子化にかかる調査(アフリカ広域)、国民ID調査(セネガル)、企業金融アクセス調査(ケニア)、遠隔ICU技術協力の導入調査(北アフリカ)等。



高専生のモノづくり力をアフリカの社会課題解決に活用する取り組み「JICA-高専オープンイノベーションチャレンジ」を実施。チームで開発した装置の実証実験をケニアの大学生たちと行う長岡高専の学生たち。